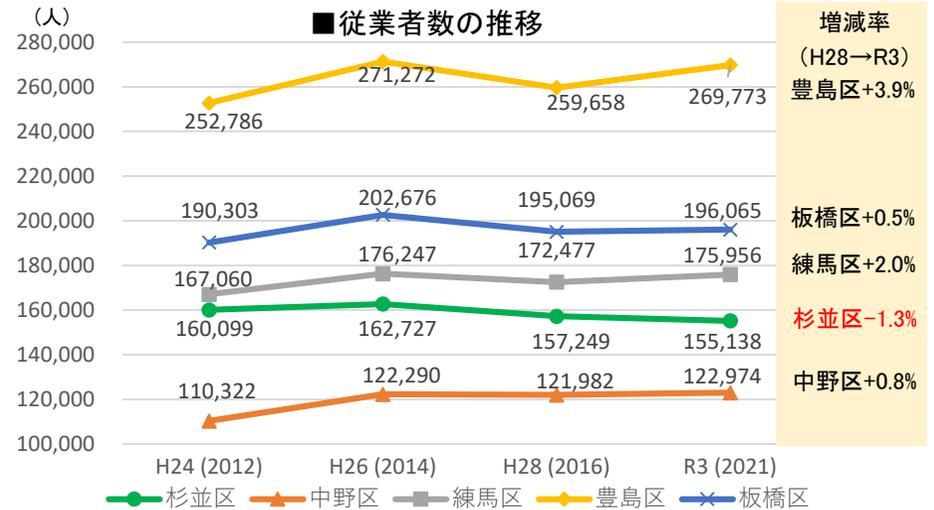
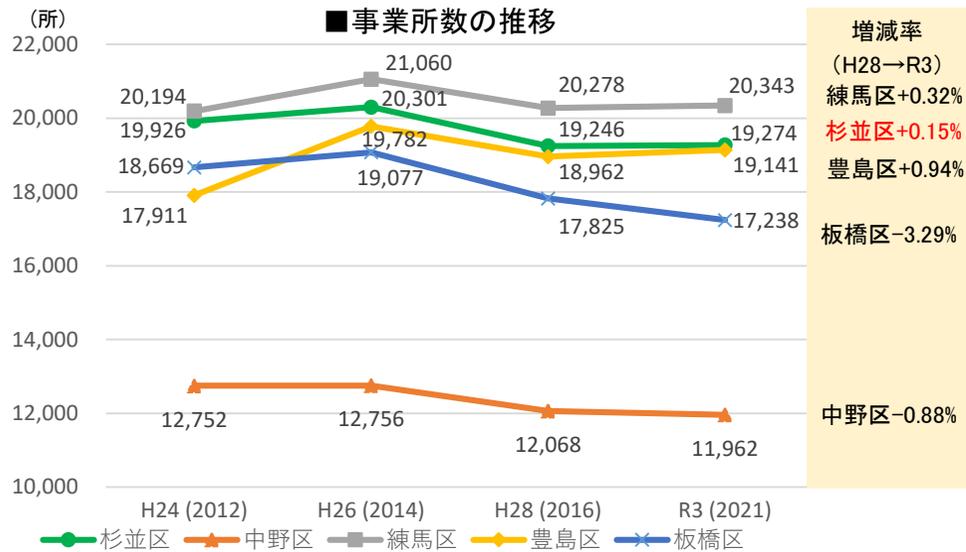


杉並区の産業の現状

1 産業構造

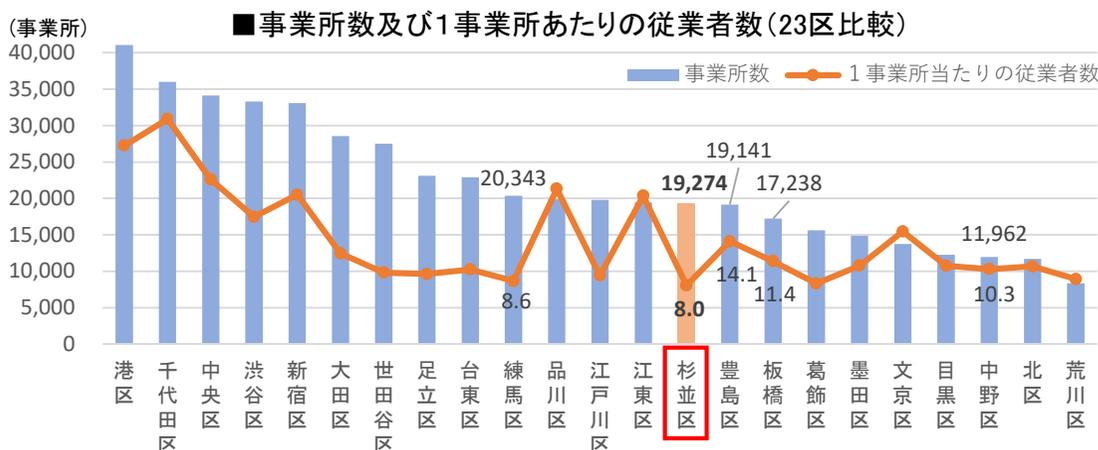
(1) 事業所数・従業者数

○ 区内事業所数は微増する一方、従業者数は近隣自治体の中で唯一減少傾向。

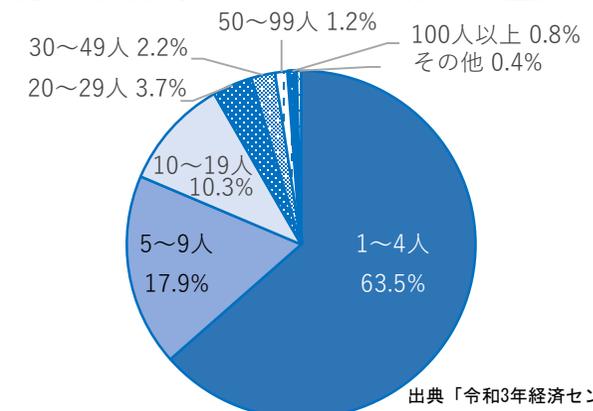


出典「平成24年・28年・令和3年経済センサス活動調査、平成26年経済センサス基礎調査」

○ 事業所数は23区中14番目の多さ。1事業所あたりの従業者数は23区中で最も少ない。
1事業所あたり10人未満の事業所が8割を超えており、小規模事業所が多い点の特徴。



■ 従業員規模別の事業所数の割合(杉並区)



出典「令和3年経済センサス活動調査」

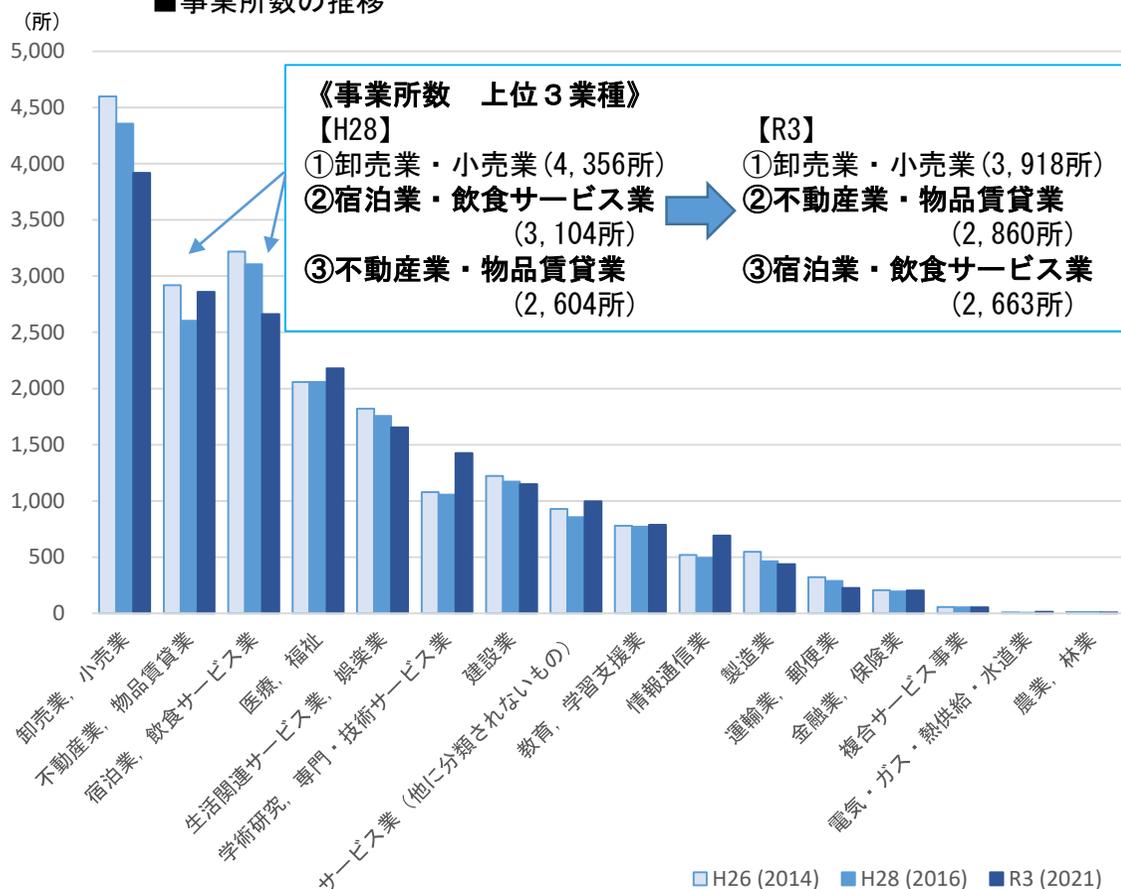
(2) 産業分類別の事業所数の割合(業種別構成比)

- 事業所数は、「卸売業、小売業」「不動産業、物品賃貸業」「宿泊業、飲食サービス業」の順に多い。
区部と比較し、「不動産業、物品賃貸業」「医療、福祉」の割合が高く、「製造業」の割合が低い点が特徴。
- 「卸売業・小売業」、「宿泊業・飲食サービス業」などで減少傾向。
「不動産業・物品賃貸業」が増加し、「宿泊業・飲食サービス業」との構成割合が逆転するなど、区内産業構造も変化しつつある。

■ 産業大分類別事業所数

	杉並区		区部
	事業所数	割合	割合
全産業(公務を除く)	19,274	-	-
卸売業, 小売業	3,918	20.3%	22.6%
不動産業, 物品賃貸業	2,860	14.8%	10.4%
宿泊業, 飲食サービス業	2,663	13.8%	12.1%
医療, 福祉	2,180	11.3%	7.6%
生活関連サービス業, 娯楽業	1,655	8.6%	6.5%
学術研究, 専門・技術サービス業	1,426	7.4%	8.8%
建設業	1,150	6.0%	5.8%
サービス業(他に分類されないもの)	997	5.2%	7.1%
教育, 学習支援業	788	4.1%	2.8%
情報通信業	691	3.6%	5.1%
製造業	439	2.3%	6.4%
運輸業, 郵便業	226	1.2%	2.2%
金融業, 保険業	203	1.1%	2.1%
複合サービス事業	53	0.3%	0.2%
電気・ガス・熱供給・水道業	15	0.1%	0.2%
農林漁業	10	0.1%	0.1%

■ 事業所数の推移



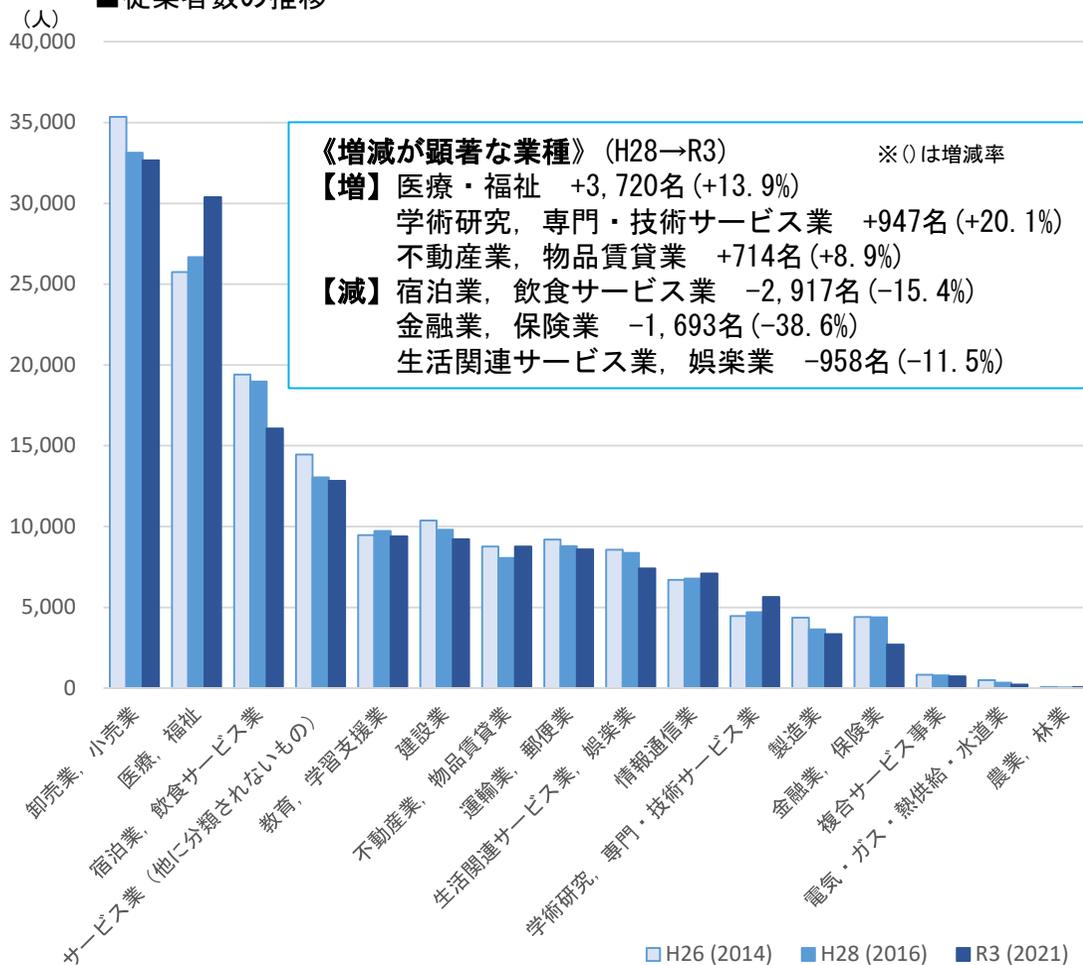
(3) 産業分類別の従業者数の割合(業種別構成比)

- 従業者数は、「卸売業、小売業」「医療、福祉」「宿泊業、飲食サービス業」の順に多い。
区部と比較すると、「医療、福祉」の割合が高く、「サービス業(他に分類されないもの)」「情報通信業」の割合が低い点が特徴。
- 「医療・福祉」「学術研究、専門・技術サービス業」などで増加し、「宿泊業、飲食サービス業」「金融業、保険業」などで減少傾向。

■産業大分類別従業者数

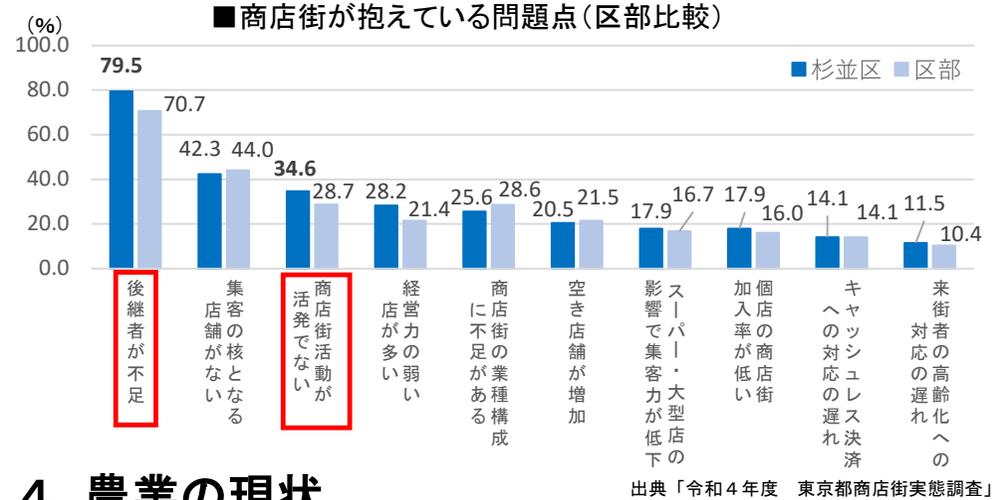
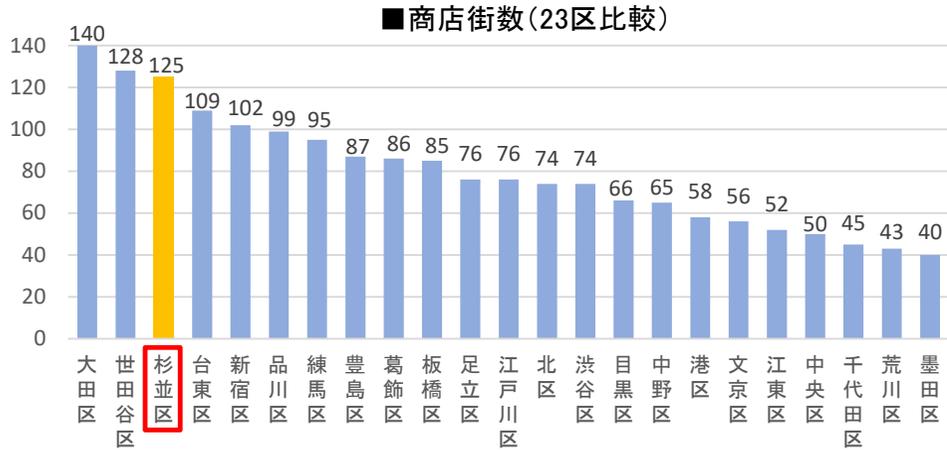
	杉並区		区部
	人数	割合	割合
全産業(公務を除く)	155,138	-	-
卸売業、小売業	32,669	21.1%	20.7%
不動産業、物品賃貸業	8,764	5.6%	4.4%
宿泊業、飲食サービス業	16,060	10.4%	7.3%
医療、福祉	30,387	19.6%	7.9%
生活関連サービス業、娯楽業	7,408	4.8%	3.2%
学術研究、専門・技術サービス業	5,648	3.6%	6.9%
建設業	9,222	5.9%	5.0%
サービス業(他に分類されないもの)	12,822	8.3%	12.8%
教育、学習支援業	9,401	6.1%	3.4%
情報通信業	7,097	4.6%	12.8%
製造業	3,345	2.2%	5.2%
運輸業、郵便業	8,595	5.5%	4.7%
金融業、保険業	2,695	1.7%	4.9%
複合サービス事業	740	0.5%	0.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	225	0.1%	0.4%
農林漁業	60	0.0%	0.0%

■従業者数の推移



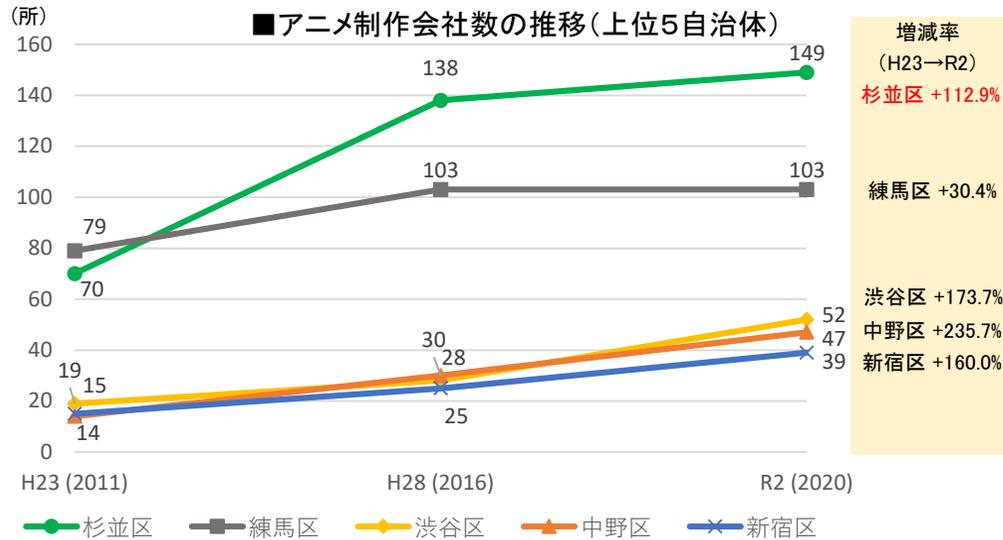
2 商店街の現状

- 商店街数は、大田区、世田谷区に続き、都内で3番目に多い。
- 約8割の商店街が「後継者不足」を課題としている。
区部と比較すると、「後継者不足」「商店街活動が活発でない」など、組織力を課題としている商店街の割合が高い。



3 アニメ産業の現状

- 杉並区は日本一のアニメ制作会社の集積地である。
(令和2年度時点で149事業所が集積)



4 農業の現状

- 農地面積・農家数は平成27年度から令和6年度の10年間でともに約21%減少している。

